

災害対応・危機管理体制の充実

消防団の充実 8億 2,900 万円

老朽化した消防団施設を調査し計画的な整備の実施、消防団員の入団促進。

よこはたの考え方

私も地域の消防団員ですが、平均年齢が高いと感じています。大学都市神戸として、興味のある大学や若い世代への声かけをしたいと考えます。



トンネル・橋梁の老朽化対策

34億 1,000 万円

老朽化したトンネル・橋梁の定期点検をはじめ、損傷箇所を計画的に修繕。

よこはたの考え方

全国各地で老朽化したトンネル・橋梁で事故が起きています。補修すべき箇所はすでに優先順位は決まっていますがスピードを上げる必要があります。昨年埼玉で道路が陥没してトラックが巻き込まれる事故が起きました。路面空洞対策も急ぎたいと考えます。

経済・観光の充実

ナイトタイムエコノミーの推進

3億 1,400 万円

イルミネーションなど夜間景観の魅力向上、週末花火「みなと HANABI」の開催、ナイトミュージアムの活用。

よこはたの考え方

大阪・京都に比べて神戸は1人あたりの消費額が課題です。宿泊をしていないパターンが多く、夜に神戸にいていただければ宿泊につながると考えています。神戸夜市などさらに活発化させて宿泊数を増やしたいと考えています。



神戸空港の国際化

33億 1,500 万円

よこはたの考え方

2030年の本格化に向けて一気呵成に路線の拡大をしたいと考えています。現在はアジア周辺ですが、欧米など路線を拡大すべきです。まずは、2025年に始まった航空需要の拡大にあたり国際チャーター便の受け入れ拡大(予算23億6,200万円)を着実にしたいと考えています。



スタートアップ支援 3,000 万円

よこはたの考え方

神戸でも新しい産業を起すべく支援をすべく、革新的な技術やアイデアを持ち急成長を期待できる未上場の会社を神戸発で起こしたいと考えています。アンカー神戸などを拠点に頑張っていますがさらに企業への支援の輪を広げていきたいと考えています。

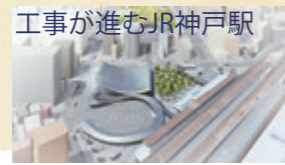
中央区関連

JR神戸駅

16億 3,400 万円

よこはたの考え方

大きく工事が進んでおり、駅から降りてすぐ湊川神社がわかるようにさらに進めていきたい。



元町駅 4,300 万円

よこはたの考え方

東口のエレベーター設置は決定していますが、西口は決まっていません。また県庁方向へのバリアフリー化など県としっかり連携していきたい。

新神戸駅 800 万円

よこはたの考え方

新神戸トノハにはモールのような集客・商業施設を誘致し賑わいを創出していきたいと考えています。

HATこうべ 2,980 万円

ミュージアムロードの活性化、デザイン性のある日よけ施設の整備

ポートアイランドリボーンプロジェクト

4億 3,100 万円

よこはたの考え方

将来設計について、スピードが遅いことが気になります。食事のできる場所など賑わいがいいことで買い物も食事でも港島以外で済ませる方が多いことが実感です。買い物や食事のできる賑わい施設を誘致すべきと考えます。

二宮地区 500 万円 (新開地地区と一緒に)

地域団体と事業者など連携して既存ストックの活用

春日野道小学校

4億 3,700 万円

校舎の老朽化・バリアフリー工事、北校舎改築工事(令和9年10月供用開始)



北野地域の回遊性向上 200 万円

観光案内サインの強化

よこはたの考え方

北野地区は国際都市神戸の象徴的な地区です。異人館を宿泊できるような施設にするなど検討されています。日本遺産指定にすべく考えています。

OPEN神戸 ~市民に開かれた市政~

神戸市議員 中央区

よこはた和幸

編集・発行 こうべ未来市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

こうべ未来市議員団 NEWS No.25

よこはた和幸事務所: 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

予算議会のご報告【令和8年第1回定例会】

私のこだわりの政策の質疑と予算議会のご報告!



局別審査にて質問

これからの神戸の1年間の方向性を示す予算市会が行われました。私のこだわり政策の質疑と主要施策予算の状況を、施策と予算額をセットにてご報告させていただきます。

一般会計・特別会計・企業会計あわせて2兆146億円となります。2年連続の2兆円を超え、守りの時代から攻めの時代へと変えていきます。震災以降続いた財政難は脱しました。これからは神戸空港や三宮再整備など神戸の魅力アップや福祉・教育・環境など市民生活の向上にも投資したいと考えます。

POINT よこはたのこだわり政策【予算委員会で質問】

POINT 1 動物の殺処分ゼロを目指す

『動物愛護予算:7,500万円』計上

10年前、殺処分数は政令都市で最下位でしたが、今年度は引き取り数104件、殺処分14件となっています。さらにゼロを目指していただきたい。

多頭飼育崩壊が問題となっています。あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会を中心に早期発見に努めています。今年度は多頭飼育崩壊に関して不妊手術支援を行うなど検討しています。少しでも殺処分を減らすべく努力いたします。

ペットは家族です。飼育したものの放棄ざるを得ない方もまだまだ多くおられます。動物愛護拠点である「こうべ動物共生センター」で犬猫の譲渡の実施やアニマルセラピーの実施を活発にしたいと考えます。

また被災時の「ペットとの避難ガイドライン」の周知をはかりたいと考えます。



ペットは家族です

POINT 2 がん対策の推進

『がん検診の向上:16億200万円』計上

全死因のトップのがんです。早期発見は大事であり、検診率をあげるべきです。

他都市の先進例や過去の数字に基づいて、単なる節目年齢の勧奨だけでなく、がんごとの勧奨する年齢を決めてアプローチをしています。8年度は、節目(50歳、60歳)に加えて男性54歳、女性44歳を加えていきます。

5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診で40歳の無料クーポン、20歳の子宮頸がん検診の無料クーポンを配布する方向ですが、検診率向上にむけて国が国家プロジェクトでやるべきですが、神戸だけでも出来ることから何でもやりたいと考えます。

また、外見補正にかかるウィッグや人工乳房などの補助は継続したいです。

ご意見・ご相談 お気軽にご連絡ください!

神戸市議員 よこはた和幸

FAX 078-335-0662

info@yokohata.net



Point 3 自殺対策

『自殺対策について:6,100万円』

質疑 10代から30代の死因のトップは自殺です。SNSで自傷自殺に関する情報にアクセスする例が多くみられており、SNSを通じた自殺対策を行うべきです。

回答 「死にたい」というワードを検索した場合には神戸市の広告(相談窓口案内など)に飛ぶ仕組みやインスタの配信を行っていく予定です。

よこはたの考え方 自殺未遂の方が自殺に至るケースが多くみられます。未遂の方が搬送された際に、搬送病院へ心理士等の派遣を行い、未遂者、ご家族への早期のケアを行うことや、電話・SNS相談窓口の充実も必要と考えます。

神戸市こころといのちの電話相談 078-371-1855 10:30~18:30 ※土日祝除
社会福祉法人神戸いのちの電話 078-371-4343 月~金 8:30~20:30、金・土(第2・3・4)は8:30~翌8:30 日・祝 8:30~16:00
厚生労働省 LINE 相談 QR コード 月・金 6:00~22:30 その他土日含む 8:00~22:30

Point 5 老々介護・認認介護について

『認知症神戸モデル:2億4,900万円』

質疑 家族以外に頼ることが出来ない状況で、高齢者が高齢者を介護する老々介護、認知症の方が認知症の方を介護する認認介護世帯数が多くなっている。対策を講じるべきです。

回答 孤立して相談できずに、共倒れ、介護放棄などの可能性がある。総合相談窓口、あんしんすこやかセンターでSOSをキャッチしていきたい。

よこはたの考え方 認知症の早期発見を支援する「認知症助成制度」と「事故救済制度」を併せた施策の計上です。ご本人にとってもご家族にとっても安心いただけるよう独自の制度です。

迷わず介護サービスなど家事代行やデイサービスをご利用ください。介護する側も倒れてしまいません。またご本人やご家族からのSOSだけでなく、地域からも情報提供していただきたいと考えます。

こうべオレンジダイヤル 078-262-1717 月~金※土日祝除

各地域のあんしんすこやかセンターは QRコードからご確認ください

Point 4 おひとりさま対策

『シニア世代支援:4,000万円』

質疑 10月からスタートした終活相談窓口だけでなく、介護、遺言、病院の付き添いなどシニア世代の多岐にわたるお困りごとをパッケージ化していくべきです。

回答 終活相談窓口を設置し終活情報登録制度を開始したところです。広報誌 KOBEなどでシニア世代向けの施策をパッケージ化したものを考えていきます。多様化するシニア世代のニーズにお応えしていきたい。

よこはたの考え方 終活相談窓口の運営の計上ですが、財産・介護・医療・お墓などにシニア世代の不安に対して公的制度や民間サービスへの的確につなげるスキームです。おひとりでお悩みご相談下さい。

こうべ終活相談窓口 078-855-8670 9:00~17:00 ※土日祝除

Point 6 親なき後について

『親なき後支援:6,000万円』 『グループホームの推進:7,300万円』

質疑 障がい者の親が亡くなったり病気になってしまったときに、身の回りのお世話や介護、仕事、財産管理など日常支援の声が多くあり、対策を講じるべきです。

回答 様々なご相談に対して、情報提供や福祉サービスの利用援助を総合的に支援する相談支援センターを19所設置しています。住み慣れた地域で暮らせる場所としてグループホームを推進しています。

よこはたの考え方 20年以上B型の施設に携わっています。親の立場としても自分が元気にならなかったときの心配は大きいものです。家族信託など法的な処置をしつつ、一人で生きていけるよう、就労や経済的問題、住まいなど行政がもっと寄り添うようにしたいと考えます。



【障がい者とご家族からのご相談窓口】 いそがみ障害者相談支援センター 078-200-5611 たちばな障害者相談支援センター 078-367-6651 どちらも月~金 9:00~19:00 土・日・祝 9:00~17:00

【親なき後に備えるための相談】 中央区障害者地域生活拠点 078-200-5611

神戸市予算における新規・拡充事業についてご報告【抜粋】

子育て・教育の充実

学校給食費の負担軽減 53億5,200万円

小学校給食費年額 68,187円⇒無償、 中学校給食費年額 82,894円⇒32,470円

よこはたの考え方

保護者のご負担を減らすべく、小学校は無償化し、中学校に関しては補助をすることにしています。給食の内容については、神戸産やオーガニックなど検討したいと考えます。予算との乖離が出てきますが、おいしく安全を目指したいと考えます。

こども誰でも通園制度の本格実施 2億4,300万円

保育所に通っていない生後6か月から2歳児がられる家庭において、就労要件を問わず時間単位で利用できる保育の充実。

よこはたの考え方

子どものお世話に注力する生後から2歳児を持つ保護者に、少しでもリフレッシュしていただくべくこの制度を実施します。

福祉・医療の充実

障がい者・児への相談支援強化 1億5,300万円

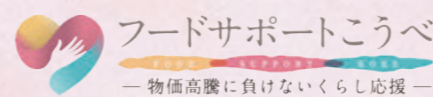
相談支援専門員の人材確保助成。

よこはたの考え方

現場の担い手である相談員の確保と育成が必要と考えます。計画作成など個別支援から地域とのつながりも必要となります。1人あたりの担当が多く過重な業務量となっており、DX化を進めて非効率事務の解消をしたいと考えます。ただ障がい者の個別計画などは時間をかけて丁寧にするのが重要です。

フードサポートこうべ 7億5,000万円

物価高の影響を受ける世帯へ食料品・生活用品の無料配布会および生活相談会の開催



よこはたの考え方

物価高で生活にお困りな方にむけて食料品、生活用品の配布会を行っています。大事なことは、配布することだけでなくブースを設けて生活相談を行うことと考えます。何か支援へつなぐことが出来るかもしれないと考えています。

不登校生徒の児童に対する支援 5億2,500万円

不登校児童生徒の保護者を対象に、フリースクール等民間施設の利用料の半額補助。上限2万円(月) オンラインの場合は1.5万円(月)

よこはたの考え方

学校へ登校するのではなく、学校やフリースクールなどと連携しながら、自宅や居場所で子ども達を見守る施策を推進します。

KOBE◆KATSUコベカツ 18億5,900万円



コベカツについて、環境整備と保護者負担の軽減を行う。運営団体のサポートについては基金を設置し、会費支援1,500円(月)、就学援助世帯3,000円(月)、参加者全員の保険料負担(800円)、指導者の資格取得の補助、市有施設の利用減免。

よこはたの考え方

部活は生徒数の減少で廃部や試合が組めないなど活動が出来なくなってきています。また、経済的な面であきらめる子ども達がいてはなりません。指導が円滑に出来るよう、学校側も協力する必要があります。子ども達が仲間と楽しみ活動できる場はどんなことがあっても守りたいと考えています。

精神科救急医療の体制確保 1億4,700万円

夜間における措置入院に係る移送体制の強化。

よこはたの考え方

夜間や休日に幻覚や興奮など厳しい精神症状で緊急治療が必要な際には24時間体制で診察措置入院が必要です。神戸の場合は、078-367-7210 平日17~翌9時、土日祝は24時間

民生委員・児童委員の負担軽減 1億1,300万円

負担軽減のため高齢者見守り台帳のデジタル化。

よこはたの考え方

民生委員さんの負担軽減をせねばと考えています。デジタル化が遅れている分野ですのでスピードを上げていきたいと考えています。

保護司支援 1,100万円

保護司の安全面対策としての面談場所確保、ITC機器導入に係る事務負担経費支援。

よこはたの考え方

滋賀県の保護司が自宅で対象者から被害にあう事件がありました。自宅以外で各地域面談場所の確保が必要です。保護司の負担軽減もしたいと考えます。